

平成 27 年 8 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢  
 (コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)  
 問合せ先 開示担当 横山 幸弘  
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

### 平成 27 年 9 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 27 年 9 月期（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の通期の連結業績予想につきまして下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 9 月期 通期連結業績予想の修正（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

|                             | 売上高       | 営業利益      | 経常利益      | 当期純利益   | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------------|
| 前回発表予想(A)                   | 8,500 百万円 | 1,800 百万円 | 1,700 百万円 | 400 百万円 | 14.69 円         |
| 今回修正予想(B)                   | 8,700 百万円 | 1,600 百万円 | 1,700 百万円 | 850 百万円 | 31.21 円         |
| 増減額(B-A)                    | 200 百万円   | △200 百万円  | —百万円      | 450 百万円 |                 |
| 増減率 (%)                     | 2.4%      | △11.1%    | —%        | 112.5%  |                 |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 26 年 9 月期) | 5,995 百万円 | 311 百万円   | 389 百万円   | 80 百万円  | 2.96 円          |

#### 2. 修正の理由

平成 27 年 9 月期通期連結業績予想につきましては、第 3 四半期までの達成状況を鑑み、売上高は前回発表を 2 億円上回る 87 億円、営業利益は前回発表を 2 億円下回る 16 億円、経常利益は前回発表と同額の 17 億円、当期純利益は前回発表を 4 億 50 百万円上回る 8 億 50 百万円を予定しております。

本会計年度におきましてはファイナンス事業においてカンボジア事業が成長し、利益を増大させており、またタイ事業において抑制的な営業方針と審査の厳格化を継続する中で利益率が本来の水準に向け回復傾向にあります。このことを背景に、すでに第 3 四半期時点で、従来の通期業績予想の 150% 以上の純利益を達成しております。このことに加え、今後においても、上記カンボジア事業の成長、

タイ事業の利益率回復は継続・加速するものと予想されます。さらに本年第4四半期からは新たに、①本年5月に免許を交付されたラオス事業の売上が開始、②カンボジア事業ではソーラーパネルファイナンスが開始され、③タイ事業における新分野 M4C も好調に成長し、また④コンテンツ事業においても新規に「ICカードダス ドラゴンボール」TCGを受注するなど企画営業開発が複数成果をあげる見込みであり、これまでの投資的活動の成果が収益に貢献開始いたします。

以上のことから、第4四半期から来事業年度に向けて、ファイナンス事業の成長が継続するとともに、コンテンツ事業の端境期は当第3四半期を底に上昇に向かうと予想しております。このことから第4四半期においても、第3四半期並みの収益水準は達成されることは確実と考えております。さらに特別利益等の影響も加え、保守的に勘案した結果、純利益予想を約2倍の8億50百万円とするものです。

当社グループは現在においてもファイナンス事業、コンテンツ事業ともに ASEAN 展開、新規分野進出などの投資的開拓費用を投下し続けております。今後とも、短期的な視点に拘泥せず、中長期的に業績を成長させることを旨とし、一般的な困難な世情等すらも事業機会と捉え、成長につなげていく方針です。

#### ※投資的開拓費用

当社グループでは ARFC Vision (Asean Regional Financial Company Vision)に基づき東南アジア全域ならびに多種の金融商品へ事業領域を拡大しております。この方針に基づき当期において発生した投資的費用は以下のものがあります。

- ・カンボジア王国における営業拠点拡充費用
- ・タイ王国における中古バイク購入者へのリース供与事業を新規展開する費用
- ・タイ王国におけるオートバイ担保金融 (Moto4Cash) 事業の展開費用
- ・ラオス人民民主共和国におけるファイナンス事業開始準備ならびに営業拠点展開費用
- ・コンテンツ事業における企画開発営業ならびに新規事業立ち上げ費用
- ・ファイナンス・コンテンツ両事業の ASEAN 地域における多国展開を目指す活動

以 上